# 非近接施工を可能にしたFFT-S工法

川上　浩司
KAWAKAMI　Kouji
FFT工法協会
技術委員

## 1．工法の概要

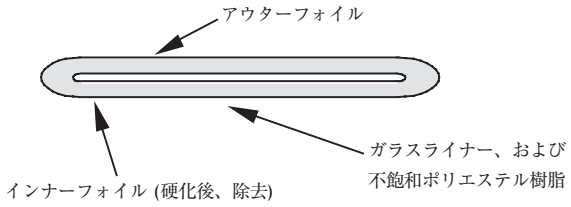
### （1）本管ライニング

本管ライニングは，損傷や腐食した既設管きょ内部に強靭で内面平滑なFRPパイプを構築する非開削更生工法である。

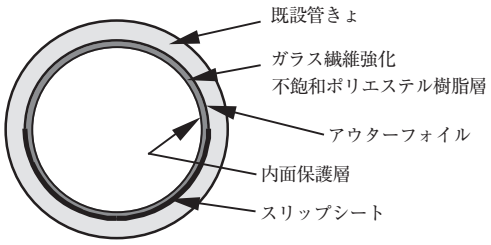
ライニング材料（樹脂含浸ガラスライナー）は，ガラス繊維をサンドイッチ構造に縫製した材料に，不飽和ポリエステル樹脂を含浸させたものである。ライニング材料には，主に自立管として強度を必要とする場合に用いるGタイプと，主に防食や止水等を目的とする場合に用いるLタイプの2種類がある。両タイプとも，必要強度に応じて厚さを変えることができる。

### （2）本管適用範囲

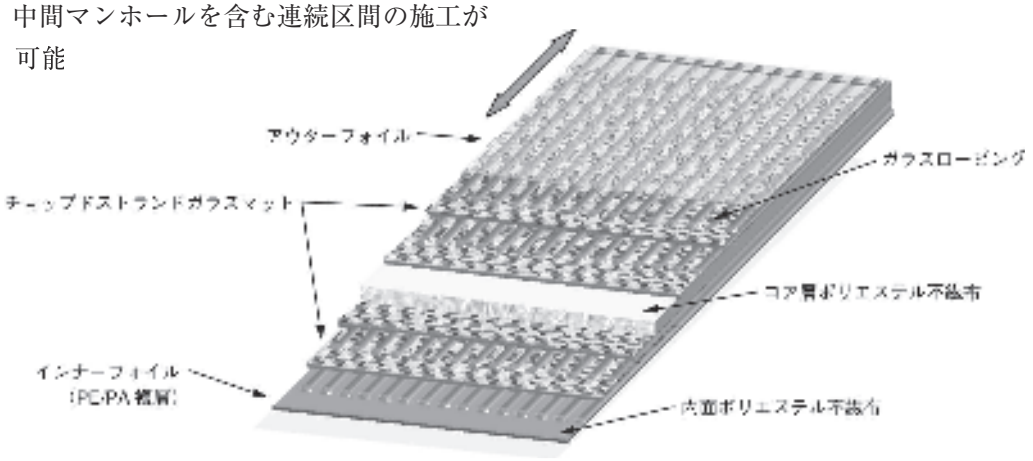
管　　種：鉄筋コンクリート管，陶管，鋼管，
　　鋳鉄管，塩ビ管
管　　径：呼び径　$\phi$200～$\phi$800
施工延長：最大100m
　　中間マンホールを含む連続区間の施工が
　　可能




図－1　未硬化状態




図－2　更生後の状態




図－3　断面図